



# 薬局新聞



2026年 春号

## 《てんかんとうまく長く付き合おう》

### てんかんとは

大脳皮質神経細胞が突然一時的に異常な電気活動を起こすことにより生じる反復性の発作

### てんかん発作と主な症状について

#### 部分(焦点)発作(テグレトール、イーケプラ、ラミクタール)

大脳の一部が異常な電気興奮を起こすことで始まる発作

#### 単純部分発作(意識正常)

顔が突っ張る、手足の一部が痙攣、音が聞こえる、光が見える、においがする

#### 複雑部分発作(意識減損):手や口をもぞもぞ動かす。舌を舐める(自動症)

二次性全般化発作:部分発作が最終的に全身痙攣(強直間代発作など)に発展すること

#### 全般発作(①バルプロ酸 Na ②ラミクタール、イーケプラ)

大脳の広い部分が同時に異常な電気興奮を起こすことで始まる発作

#### 欠神発作(意識十数秒消失)(①バルプロ酸 Na ②ラミクタール)

痙攣を伴わず、突然行動を停止し意識を失う。(ぼんやりして反応しない)

#### 強直間代発作(意識数分消失)(①バルプロ酸 Na ②イーケプラ、トピラマート、ラミクタール)

意識を失って倒れ、体の一部または全体が硬直し(強直)、

その後ガクガクと痙攣(間代)する発作

#### ミオクローニー発作(意識正常)(①バルプロ酸 Na、ランドセン ②イーケプラ、トピラマート)

瞬間的な筋収縮で、全身や手足を一瞬ピクッとさせる

#### 強直発作・脱力発作(意識保たれている場合と消失している場合がある)

(①バルプロ酸 Na ②イーケプラ、ラミクタール)

突然体から力が抜けて倒れる。突然起こるので頭部保護が大切

### てんかん重積状態

5分以上持続する全般強直間代発作の重積状態は生命の危険を伴います

### 抗てんかん薬について

- ・脳の過剰な電氣的興奮を抑えて発作を予防
- ・当院採用の抗てんかん薬  
アレピアチン、イーケプラ、エクセグラン、ガバペン  
ダイアップ、ダイアモックス、テグレトール、トピラマート  
バルプロ酸ナトリウム、ビムパッド、フィコンパ、  
フェノバル、マイスタン、ラミクタール、ランドセン
- ・処方された量を規則正しく服用することが重要  
(自己判断で服薬を中断したり、量を調整しない)  
(定期的に血液検査が必要な薬もある)
- ・発作の種類によって効果のある薬が異なる
- ・食品との相互作用に注意が必要な薬がある
- ・気分安定薬や抗不安薬として使用されることもある

### ～話題の新薬～

#### スピジア点鼻

(2025.12.24 販売開始)

一般名: ジアゼパム

効果: てんかん重積状態

規格: 5mg、7.5mg、10mg

長所: 坐剤よりも即効性・投与しやすい

注意点: 眠気・呼吸抑制などの副作用

特徴: 日本初の経鼻投与型抗けいれん薬  
第3種向精神薬に該当

販売: ヴィアトリス製薬

お気軽にご相談下さい



東加古川病院 薬局

加古川市平岡町新在家 1197-3

